

令和 7 年度 後志教育研修センター

調査研究事業報告会

社会教育調査研究委員会

報告内容

- 1 調査研究内容について
- 2 コミュニティ・スクールにおける社会教育行政の役割や可能性とは
- 3 次年度へ向けて

1. 調査研究内容について

(1) 今年度の研究内容・計画について

○メインテーマとサブテーマ

メインテーマ

「持続可能な社会に向け、
地域の可能性を引き出す学びをつくる社会教育のあり方」
(北海道社会教育主事会)

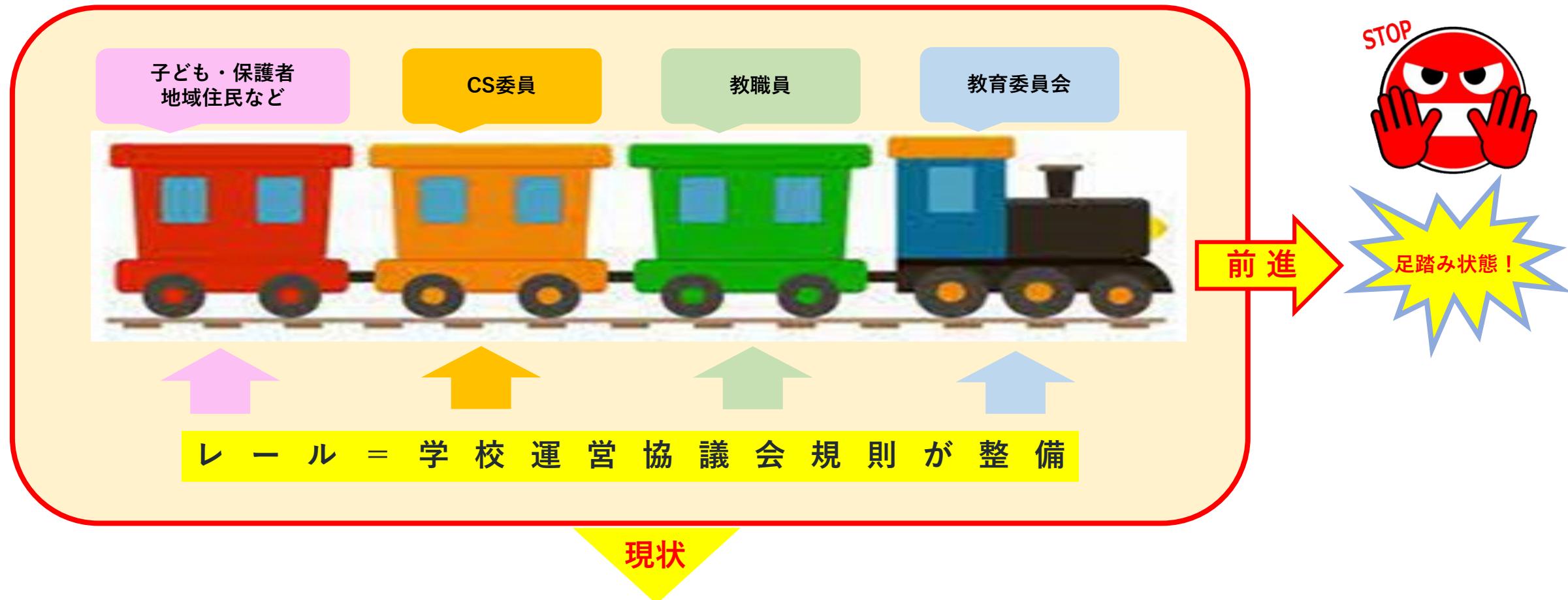


サブテーマ

「後志管内におけるコミュニティ・スクールと地学協働の現状と課題」
(後志社会教育主事会独自)

(2) 後志管内の現状（令和5年度の調査・研究結果から）

後志管内の19市町村が学校運営協議会を導入しているが・・・



学校運営協議会が整備されてはいるが、十分な機能が果たせていない（前進できていない）！

(3) 自治体単独での取り組みには限界がある

○取組みが進むには、タイミングがカギ！

- ・行政職員、教職員、地域住民など



広域的に取組むことで、一定水準の質を確保することが可能に！

○「他の自治体の取組みを参考にしながら、進めていきたい」

(4) 後志全体の底上げを！



(5) 研究内容・研究計画の全体像（主事会5か年計画）

後志管内のコミュニティ・スクールと地学協働の前進に向けた展望（R5～R9）

3 各自治体の取り組みを一般化したモデルを作成！

5 「Shiribeshi」モデルの反動 & 教委の強いアクセル



「Shiribeshi」モデルとは・・・

各自治体の取り組みを一般化して、「誰が携わっても」、「どの自治体でも」同じような水準を維持して取り組みができるように整理したもの（「手引書」をイメージ）。

4

プッシュ！



1

令和6年度 車両点検 = 「課題の発見」



2

令和7年度 車両整備 = 「課題の改善」

後志管内の取組みが前進！

2. コミュニティ・スクールにおける 社会教育行政の役割と可能性とは

今年度の後志社会教育主事会の目指す**方向性とは！？**

テーマ

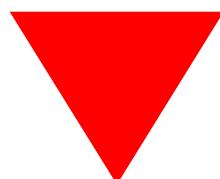
「**後志管内のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の実際**」
～社会教育の可能性について理解を深める～

対等性・双方
向性のある学
校運営協議会

地域性を生か
した地域学校
協働活動

地域との深い
関係づくり

系統性のある
地域学校協働
活動

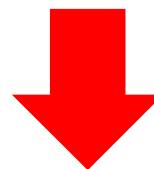


実地研修を通じて・・・

コミュニティ・スクールの知見を広げる × 社会教育担当者としての実践力のUP ↗

コミュニティ・スクールにおける社会教育行政の役割や可能性とは？

そもそも
コミュニティ・スクールって!?



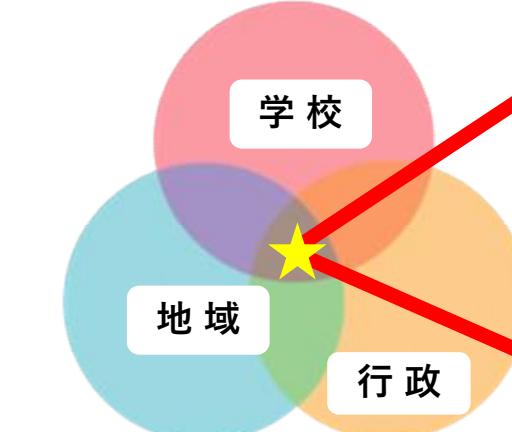
各自治体の
学校運営協議会規則では!?

・学校運営協議会の設置

・委員の任命

・研修会の実施

・庶務



コミュニティ・スクールにおける
社会教育行政の役割とは!?



子どもたちの成長を
「学校」&「地域」&「行政」
社会総がかりで支えていこう！

教委としての
「最低限の役割」は
明記されている

社会教育の「役割」・「強み」・「特徴」



地域社会とのつながり

多様性・柔軟性・信頼関係



★社会教育行政（担当者）として、子どもたちの成長のために、どのような関わりができるのかを探っていきましょう！

どのような手段で社会教育行政の携わり方を探るのか？（考察方法）

今年の目標！

社会教育行政の
携わり方の理解



1 知識の向上

社会教育行政がコミュニティ・
スクールに携わる意義や役割に
ついての知識の習得
⇒ 専門家による講義

2 想像力の向上

社会教育行政の視点から管内の
評価点や課題点へのアプローチ
方法について考察
⇒ 実地研修



3 技能の向上

社会教育行政がコミュニティ・
スクールに携わるうえで必要と
なる実践力の習得
⇒ 実践力養成講座
「シリーズ〇〇の技術」



電話応対コンテスト

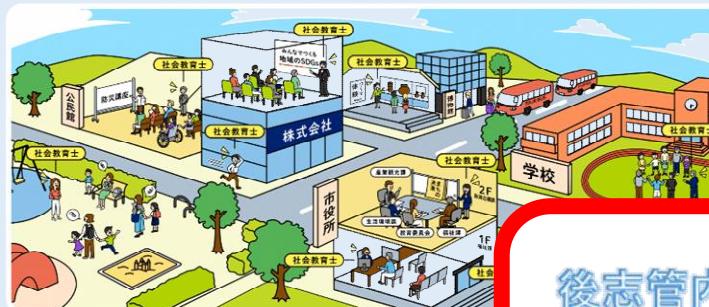
ファシリテーションコンテスト

令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)
寿都町

1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」
 - ⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？
 - ②学校や行政ができることとは？

9月17日(水)
研修センター

関心度
No1

後志管内におけるコミュニティ。 スクールと地域学校協働活動の実際 ～社会教育の可能性について理解を深める～

11月17日(月)
留寿都村

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)
真狩村予定

- 双向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）

4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

第1回管内研修会

①講義

「そこが知りたかった！廣瀬先生に学ぶ
コミュニティ・スクールのあれこれ」
元宇都宮大学教授 廣瀬隆人 氏

②寿都小学校5年生の授業見学 「高齢者疑似体験・車椅子体験」

③寿都町CSコーディネーター実務見学

④実践力養成講座 「タイトル作りの技術」

基礎用語の確認！

- ★コミュニティ・スクール
- ★地域とともにある学校
- ★学校を核とした地域づくり



コミュニティ・スクール
=地域づくり

人づくり つながり 地域づくり



進み具合には “ステップ”がある



やり方は “みんな違ってみんないい”

A市



C村



B町



⇒ コミュニティ・スクールは、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」をめざす社会教育と接点がある

令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)
寿都町

1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」
 - ⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？
 - ②学校や行政ができることとは？

9月17日(水)
研修センター

関心度
No1

後志管内におけるコミュニティ。 スクールと地域学校協働活動の実際 ～社会教育の可能性について理解を深める～

11月17日(月)
留寿都村

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)
真狩村予定

- 双向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）

4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

後志教育研修センター「学校と地域をつなぐ社会教育」講座

①パネルディスカッション

「コミュニティ・スクールが目指すもの」

②留寿都村の事例紹介

「コーディネーターの役割と職務の実際」

③グループワーク

「CSにおける教職員の関わり」

・教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？

・学校や行政ができることとは？



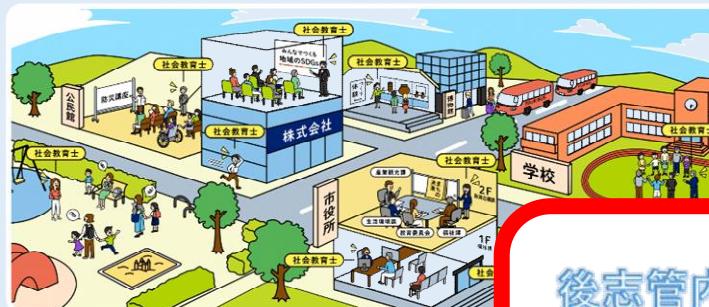
⇒先進事例を共有し意見交換することで、小さな疑問の解決や新たな気づきが生まれた

令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)
寿都町

1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」
 - ⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？
 - ②学校や行政ができることとは？

9月17日(水)
研修センター

関心度
No1

後志管内におけるコミュニティ。 スクールと地域学校協働活動の実際 ～社会教育の可能性について理解を深める～

11月17日(月)
留寿都村

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)
真狩村予定

- 双向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）

4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

第2回管内研修会

①講義

「ここでしか学べない志々田先生によるコミュニティ・スクールと社会教育の関係性についての特別講義」

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部統括研究官
志々田 まなみ 氏

②留寿都村の事例紹介

「コミュニティ・スクールにおけるコーディネーターの役割と職務の実際」

③グループワーク

・講義と事例紹介の振り返り

④実践力養成講座

「コミュニケーションの技術」

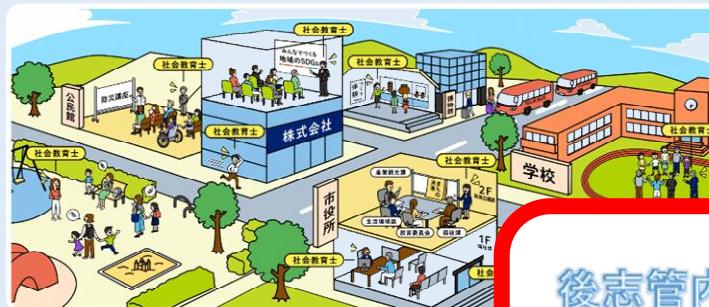
⇒ 「コミュニティ・スクール」には大人同士の交流の輪を広げたり、生きがい作りにつながる側面がある
「社会教育のノウハウを生かすことができれば、学校運営協議会がもっと楽しいものになる」！

令和7年度の研修サイクル

7月1日(火)
寿都町

1 【実地研修①】第1回管内研修会（7月）

- 社会教育の果たす役割について理解を深める（講義）
- 寿都町の事例からCSにおける社会教育の可能性を考察（視察）



2 【教職員との意見交流】後志教育研修センターの講座

- 事例紹介（コーディネーターの役割と職務の実際）
- 意見交流「CSにおける教職員の関わり」
 - ⇒①教職員がCSに携わるうえでのハードルとは？
 - ②学校や行政ができることとは？

9月17日(水)
研修センター

関心度
No1

後志管内におけるコミュニティ。 スクールと地域学校協働活動の実際 ～社会教育の可能性について理解を深める～

11月17日(月)
留寿都村

- コーディネーターの役割と職務の実際（視察）
- 地域住民との深い信頼関係を築くためには？（演習）

3 【実地研修②】第2回管内研修会（11月）



2月13日(金)
真狩村予定

- 双向性・対等性のある学校運営協議会の実際（講義）
- 活発な議論を促すファシリテーションとは？（演習）

4 【実地研修③】第3回管内研修会（2月）

第3回管内研修会（2月開催予定）

①講義

「学校運営協議会をもっと楽しいものに！
～社会教育の腕の見せ所とは？」
栃木県立真岡工業高等学校長 井上 昌幸 氏

②「意義のある会議を実践するための秘訣とは？」

③実践力養成講座 「ファシリテーションの技術」

どのような手段で社会教育行政の携わり方を探るのか？（考察方法）

今年の目標！

社会教育行政の
携わり方の理解



1 知識の向上

社会教育行政がコミュニティ・
スクールに携わる意義や役割に
ついての知識の習得
⇒ 専門家による講義

2 想像力の向上

社会教育行政の視点から管内の
評価点や課題点へのアプローチ
方法について考察
⇒ 実地研修



3 技能の向上

社会教育行政がコミュニティ・
スクールに携わるうえで必要と
なる実践力の習得
⇒ 実践力養成講座
「シリーズ〇〇の技術」



電話応対コンテスト

ファシリテーションコンテスト

3. 次年度に向けて

次年度の調査・研究の方向性（予定）

① しりべしモデルの目標設定

② 仮説の設定